



白井一夫さんと千夏さんは共に写真夜間コースの同級生。
2017年3月に坂本龍馬の墓でプロポーズ。
「ボクとずーっと一緒にいてくれますか？」
に千夏さんは号泣したとか。現在二人は東南アジアを旅行中。
若い夫婦の放浪の旅、最高のプロジェクトのスタートです。

白井 一夫 × 千夏

©白井一夫

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol. 40

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY



©白井一夫

帰国後は
事業展開を図っていききたい。
ずーっと笑って生きるために。

この旅の先に見出したことを大切に、フレキシブルに考えながら、これから先も二人で世界のどこかで笑っていられるよう、また何かを創り続けていけるよう、励んでいきたいと考えています。

白井一夫(34)さんと千夏(29)さんご夫婦は現在、東南アジアをメインに歩いています。海外はどうですか?の問いに「今回の旅は、写真撮影はもちろんのこと、様々な国の色々な文化・言語に触れたいと思っています。マレーシア、カンボジア、ベトナム、ラオス、タイなど、東南アジアを中心に周ろうと決めたものの、あえて細かい場所やスケジュールを決めず、行っただ先での出会いとそこで情報、自分たちがリアルに感じたことを大切にしながら旅を進めています。英語はほとんど喋れない私達ですが、旅先でのハプニングも大切にしていきたいと思っています。この旅の経験は、人としての見聞を広げ、また写真家としてこれから先やっていく上で、重要なバックグラウンドの形成に役立つと思っています。かつよく言えば先行投資。悪く言えば放浪でしょうか。でも、『夫婦で放浪』ってなかなか居ないし面白くないですか? (笑) 現在はマレーシアのカメラマンハイランドというところに滞在していて、この地で農業を中心とした、多角事業を展開している友人と、子育てしながら絵本作家活動しているその奥様のところに身を寄せています。日々、

マレーシアが持つ独特の多国籍民族・文化・言語に触れ、日本との習慣の違いに驚かされつつ、すっかり経営者の顔になった友人、この地に根付き、たくましく生きる友人家族とふれあい、日本ではなかなか感じられなかった、人として大切なことを教えてもらっているように感じています」

何か困ったことは? 「マレーシアに着いて早々、マックブックが壊れました。そして矢継ぎ早にアイフォン7も水没故障・・・出鼻を挫かれたようで二人共撃沈。幸い夫のパソコンは使用でき、なんとかアップルの人とやり取りできて、次の日に近くのアップルストアへパソコンを持ち込み、直せました。英語のほとんど出ない私達。お店でのやり取り、ゲストハウスでのコミュニケーションなど、言葉の壁にぶつかっています。もっと話したい! 伝えたい! と、もどかしいのですが、マレーシア人やゲストハウスの仲間は優しく、そんな私達にもたくさん話しかけてくれ、色々教えてくれます」

素晴らしい珍道中が目に見えます。身体に気をつけてお帰り下さい。(は)